

●神幸神社の秋祭り

○霧の海

大小の河川が合流する三次では、季節が秋になると、川から立ちのぼる蒸気が霧になって一面に立ちこめます。街の上空をすっぼりと覆い尽くし、山々を霧の雲海が包みこみます。

○香淀の大銀杏

次第に深まり行く秋。

三次の名勝、香淀の大銀杏も黄色く染まっています。

○神幸神社

美土里町の神幸神社。

神幸神楽団の本拠地です。

秋祭りの当日、ここで神楽が奉納される予定でしたが、この日はあいにくの雨。

○集会所

そのため、会場を集会所に移して神楽の上演が行われました。

○神楽の上演風景

この日は、日頃から応援してくれている氏子たち、つまり地元ファンのための感謝を込めた興行です。

18人の団員が、一人何役もこなしながら、胴をたたき、笛を吹き、いくつもの演題を次々に舞います。

○終わったあとの様子

夕方から始まった神楽の上演が終わるのは深夜。

最後まで全力を振りしぼって踊ったので、

○津田さんインタビュー

みんななくたくたです。
でも、何より神楽を愛し、生きがいにして
いる人たちがばかりなので、演じきった時の
達成感はまた格別のようなのです。

しかし、何百年もの歴史をもつ農村神楽も
後継者不足が課題です。

津田さん「この地元においても神楽をしないってい
う人の中にはいますし、だからあのでき
るだけ神楽が楽しいもんだってな感じ
で、まあ入り易い神楽団に、入り易い雰
囲気っていうのも必要でしょうし、そう
いった入ってくれるような工夫っていう
ものも今後必要になってくるのかなって
いう感じがします」